

演習 4

長期化を見越して、指定避難所としての運営体制の構築

目的

- ・ 長期化することを想定して、避難所運営組織について理解する。
- ・ 長期化することを想定して、避難所の安全、情報収集、情報共有を考える。

※長期化～避難から7日以上

まずは～

避難所運営では様々な作業を手分けしなければなりません (ご飯の準備、掃除、外部との連絡など)

避難所で長期に過ごすには、避難者で構成された、班や係が必要となります。

活動班の種類

① 代表・副代表

② 総務班

③ 情報広報班

④ 管理班

⑤ 保険衛生班

⑥ 医療福祉班

⑦ 食料物資班

⑧ ボランティア班

解説：②各活動班の業務内容

①代表・副代表

- ・避難所ルールの決定と周知
- ・代表者の会議の司会進行
- ・避難所自治組織の統括
- ・災害対策本部、施設管理者、関係機関等との調整

②総務班

- ・運営自治組織内の連絡、調整
- ・代表者会議の事務
- ・災害対策本部や関係機関との連絡、要請、窓口
- ・避難者からの意見、要望の受付

③ 情報広報班

- ・ 復旧情報や生活情報の収集
- ・ 情報の伝達
- ・ 要配慮に配慮した情報提供
- ・ 地域の情報拠点としての役割
- ・ 外部への避難者情報の提供
- ・ 取材対応

④ 管理班

- ・ 避難者の把握、名簿の作成、避難者の入退所の管理
- ・ 安否の問い合わせや訪問者への対応
- ・ 郵便物等の取次ぎ
- ・ 施設の警備

⑤ 保健衛生班

- ・ 感染症予防
- ・ 生活用水の確保
- ・ ごみ集積所の管理
- ・ 洗濯場、物干場の管理
- ・ 食品衛生管理
- ・ トイレの管理
- ・ 定期的な掃除の呼びかけ
- ・ 風呂の管理
- ・ ペットの管理

⑥ 医療福祉班

- ・ スタッフの募集
- ・ 傷病者への対応
- ・ 要配慮者への対応
- ・ 被災者の健康状態の確認

基本的に掃除は避難者で
順番に決めて行う。

使った人が掃除するよう
心がける。

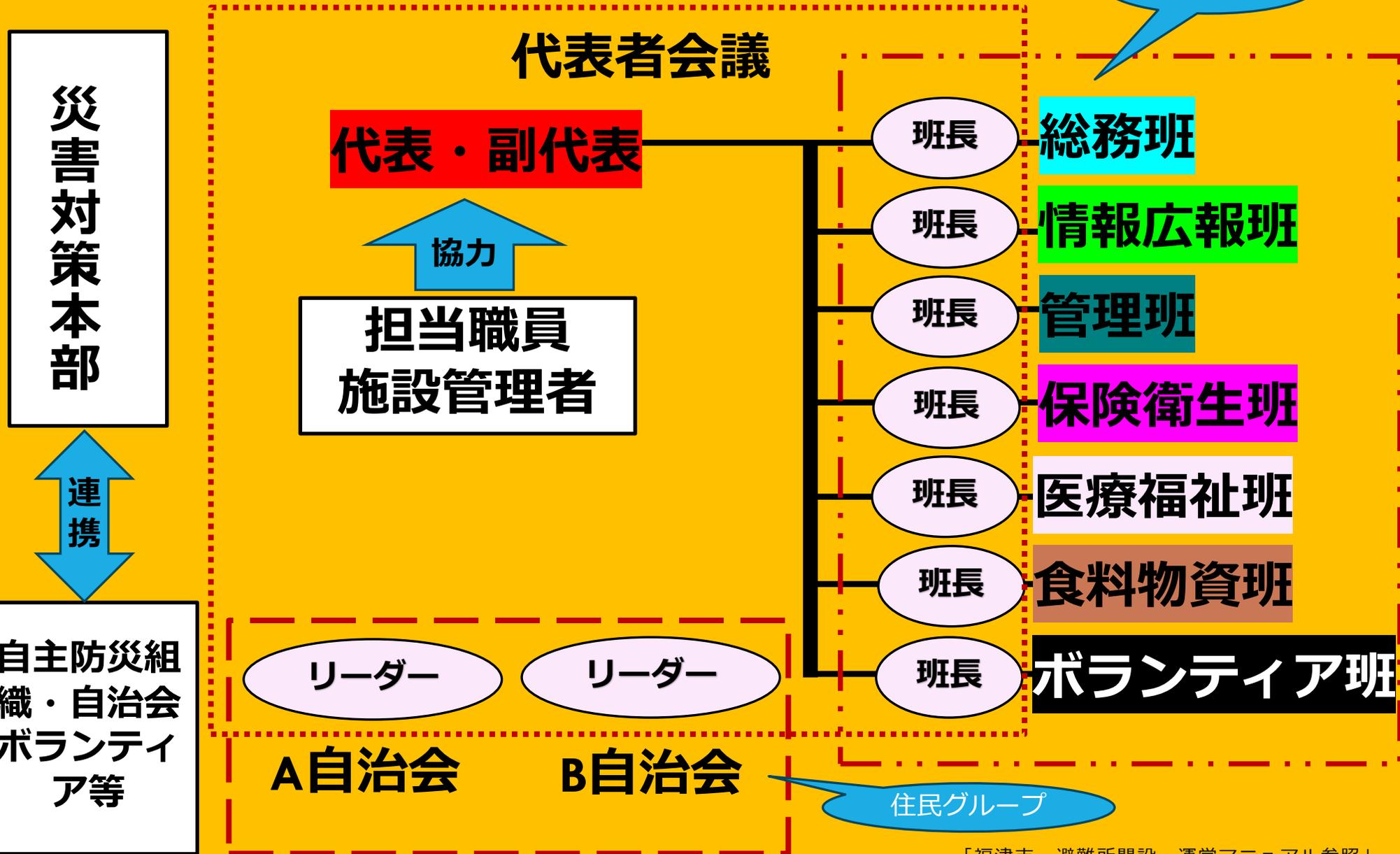
⑦ 食料物資班

- ・ 食料物資の調達
- ・ 食料物資の管理
- ・ 炊き出しの実施
- ・ 在宅被災者への配給方法の掲示と配給
- ・ 食料物資の受け入れ
- ・ 食料物資の配給
- ・ 給水タンクの管理と飲料水の配給

⑥ ボランティア班

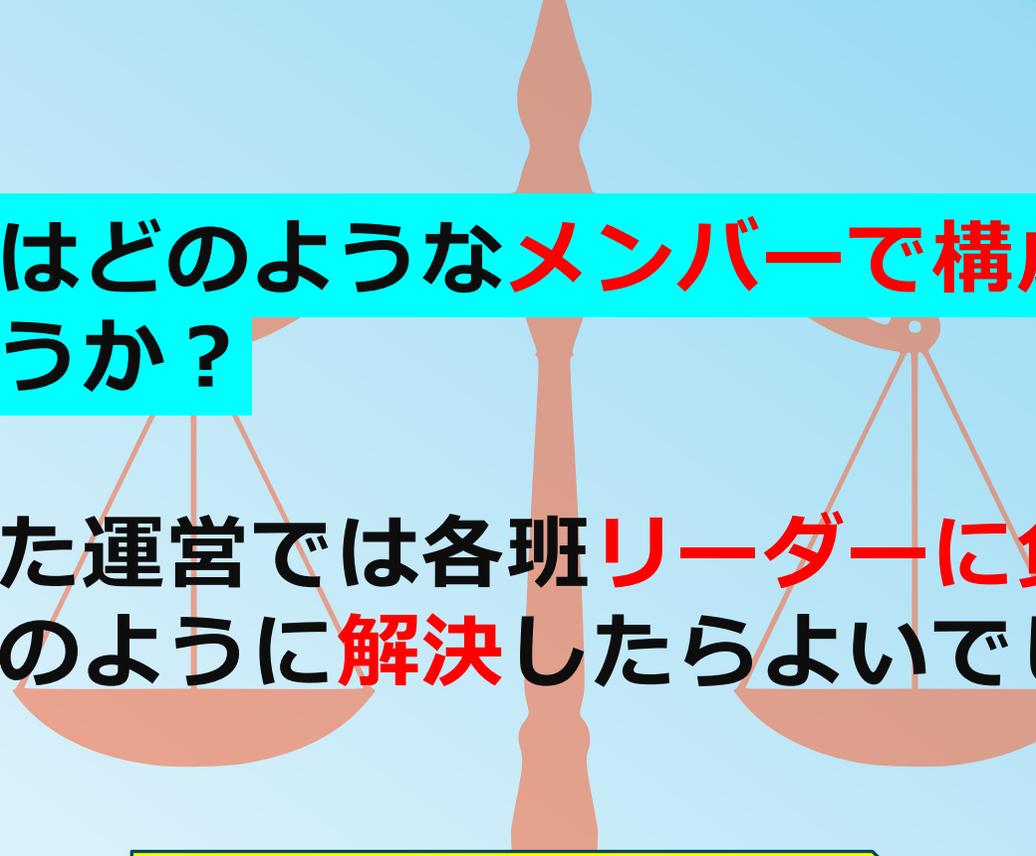
- ・ ボランティアニーズの把握と要請
- ・ ボランティアの受け入れ
- ・ ボランティアの活動調整

避難所自治組織図



<設問 1>

運営組織について考えてみましょう。

- 
- ①各活動班はどのような**メンバー**で構成したらよいでしょうか？
 - ②長期化した運営では各班**リーダー**に**負担**が生じるためどのように**解決**したらよいでしょうか？

Let's discuss !

活動班の種類

① 代表・副代表

自治会長、防災士の資格を持っている区長

② 総務班

自治会、市役所の職員

③ 情報広報班

自治会、市役所の職員

④ 管理班

避難施設の責任者（校長）

活動班の種類

⑤ 保険衛生班

保健師、住民

⑥ 医療福祉班

医療関係者、住民

⑦ 食料物資班

住民

⑧ ボランティア班

住民

解説：避難所における女性のニーズに応えられる男女共同参画化

避難所運営時における女性参画化

- ・ **管理責任者**に女性と男性の両方を配置する。
- ・ 避難者による自治的な運営組織に、女性の参画を促す。
(責任者等の少なくとも**3割以上が女性**となることが目標)
- ・ 避難所での生活のルール作りの際には、**女性の意見**を反映させる。
- ・ 特定の活動（食事作りや片付け等）が特定の性別に偏るなど、**役割を固定化**しないように配慮する。
- ・ 避難者の中には、**DVやストーカー等の被害者**が含まれる可能性

が

あることから、**個人情報**の管理を徹底する。

解説：②避難所における女性のニーズに 応えられる男女共同参画化

女性への配慮を考慮した避難所チェックシート

避難所チェックシート	
確認日： _____ 確認者： _____	
① 避難所のスペース	
プライバシー	<input type="checkbox"/> 授乳室（椅子、授乳クッション、おむつ替えスペース）がある <input type="checkbox"/> 男女別更衣室、男女別休養スペースがある <input type="checkbox"/> 間仕切り・パーティションがあり、その高さや大きさなどが、プライバシーの保護の観点から、十分である
要配慮者	<input type="checkbox"/> 適切な通路が確保され、段差が解消されている <input type="checkbox"/> 乳幼児のいる家庭用エリアがある <input type="checkbox"/> 介護・介助が必要な人のためのエリアがある <input type="checkbox"/> 単身女性や女性のための世帯用エリアがある <input type="checkbox"/> 女性専用スペース（女性用品の配置・女性相談）がある <input type="checkbox"/> キッズスペース（子供たちの遊び場・勉強・情報提供）エリアがある <input type="checkbox"/> 足腰が悪い人のための理髪（段ボールベッド等）が提供されている
トイレ	<input type="checkbox"/> 安全で行きやすい場所に設置されている <input type="checkbox"/> 女性トイレ：女性用品・防犯ブザーの配置、仮設トイレは女性用を多め <input type="checkbox"/> 男性トイレ：尿取りパット等の配置 <input type="checkbox"/> 多目的トイレが設置されている <input type="checkbox"/> 洋式トイレが設置されている <input type="checkbox"/> 屋外トイレは雑がりにならない場所に設置されている <input type="checkbox"/> トイレの個室内、トイレまでの経路に夜間照明が設置されている <input type="checkbox"/> トイレに錠がある
入浴施設	<input type="checkbox"/> 安全で可能な限りバリアフリーに対応した入浴施設がある <input type="checkbox"/> 男女問わず一人で（又は付き添いを受けながら）入浴できる施設がある
安全	<input type="checkbox"/> 避難所の危険箇所や死角となる場所の把握・立入制限がされている <input type="checkbox"/> 間仕切り・パーティションが高い場合は個室の定期確認がされている
その他	<input type="checkbox"/> 各部壁に部屋札（ピクトグラム、やさしい日本語）が設置されている <input type="checkbox"/> 掲示板による情報提供（インターネットが使用できない人・情報が届きにくい人向け）がされている
② 避難所の運営体制・運営ルール	
運営体制	<input type="checkbox"/> 管理責任者には男女両方を配置している <input type="checkbox"/> 自治的な運営組織の役員に女性が3割以上参加している <input type="checkbox"/> 運営組織に、多様な立場の代表が参加している ・ 介護・介助が必要な人 ・ PTA ・ 障害者 ・ 中学生・高校生 ・ 乳幼児がいる家庭の人 ・ 外国人（在住者が多い場合）
運営ルール	<input type="checkbox"/> 避難者による食事作り・片付け、清掃等の負担が、特定の性別や立場の人に偏っていない（男女を問わずできる人で分担） <input type="checkbox"/> 女性用品（生理用品、下着等）は女性担当者が配布を行っている

ニーズ把握	<input type="checkbox"/> 避難者から要望や困りごとを受けられる仕組み体制がある（トイレ等への意見箱の設置） <input type="checkbox"/> 女性や子育て・介護中の家庭の要望や困りごとを積極的に聞き取り、運営に反映させている <input type="checkbox"/> 避難者名簿を作成し情報管理が徹底されている （氏名、年齢、性別、健康状態、保育や介護を要する状況、避難場所、在宅・車中泊、外部からの問い合わせに対する情報の開示/非開示の可否） <input type="checkbox"/> 相談体制の整備、専門職と連携したメンタルケア・健康相談が実施されている
③ 暴力防止・安全の確保	<input type="checkbox"/> 配備者からの暴力の被害者等の避難者名簿の作成と情報管理が徹底されている <input type="checkbox"/> 男女一緒に行う防犯体制がある <input type="checkbox"/> 就寝場所や女性専用スペース等へ巡回警備が行われている <input type="checkbox"/> 避難所の校庭など、敷地内に車中泊がある場合は、車中泊エリアの巡回警備が行われている <input type="checkbox"/> 暴力を許さない環境づくりが整備されている （啓発ポスターの掲示、相談カードの設置、照明の増設、女性や子供は2人以上で行動する、移動する際はまわりの人に声を掛け合う） <input type="checkbox"/> 防犯ブザーやホイッスルが配布されている <input type="checkbox"/> 不安や悩み、女性に対する暴力等に対する相談窓口、男性相談窓口が周知されている
④ 衛生環境・感染症予防	<input type="checkbox"/> 感染症予防（手洗い・消毒・マスク）対策がされている <input type="checkbox"/> トイレの使用方法・汚物の処理などの衛生対策が行われている <input type="checkbox"/> トイレ専用の履物（スリッパ等）が使用されている <input type="checkbox"/> ゴミの収集や分別が徹底されている <input type="checkbox"/> 炊き出しを行う際は、調理の手順の表示や食品の管理、主要なアレルギーの有無の表示、残食の廃棄が徹底されている <input type="checkbox"/> 育児用ミルク（粉ミルク/液体ミルク）を配布する際は、授乳アセスメントシートに基づき説明した後に配布している
⑤ 在宅避難者を含む指定避難所以外の避難者への支援	<input type="checkbox"/> 在宅避難者を含む指定避難所以外の避難者情報も登録されている（特に要配慮者の把握のため） <input type="checkbox"/> 在宅避難者を含む指定避難所以外の避難者への食料・物資配布の時間や場所がある <input type="checkbox"/> 在宅避難者を含む指定避難所以外の避難者への支援情報等を伝達する体制が整っている <input type="checkbox"/> 在宅避難者を含む指定避難所以外の避難者のニーズを把握する体制がある

活用していきましょう！

<設問 1>

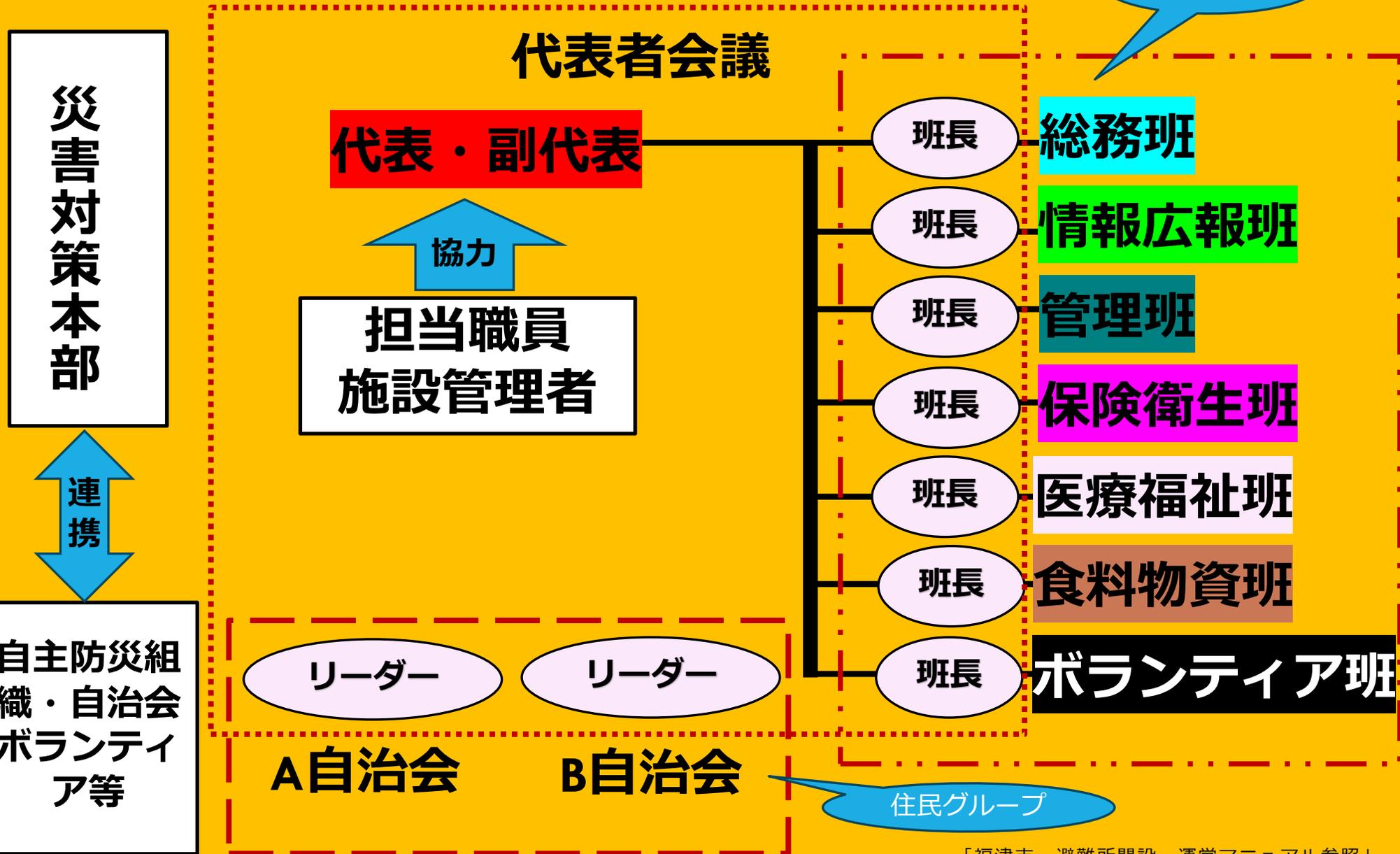
運営組織について考えてみましょう。

①各活動班はどのような**メンバー**で構成したらよいのでしょうか？

②長期化した運営では各班**リーダー**に**負担**が生じるためどのように**解決**したらよいのでしょうか？

Let's discuss !

避難所自治組織図



(リーダーの主な仕事と負担)

- ・グループ内の意見とりまとめ。
- ・避難者への指示、要請。
- ・各班リーダーによる定例会議。

負担

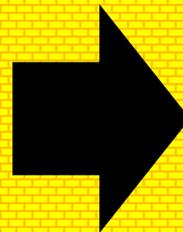
長期化になると
リーダー一人の負
担が増大。

様々な要望に答え
なければならない。
精神的負担

リーダーも被災者
の一人で家族がい
る。

×

リーダー一人で、組織運営や災害対策活動の指揮を行うのは、負担が大きい。



○

組織運営で協力してもらえる仲間（3人程度の協力者 = 役員の立場）を作ることが重要



解説：リーダーシップをとる7つのコツ

- ①地域の一個人ではできないことでも、地域防災リーダーという立場や肩書を利用することで、活動しやすくなる。
- ②自主防災組織で活発な活動をしている団体には、みんなが楽しんで活動しているという特徴が見られる。
- ③一人だけで組織を運営していかうとせず、組織運営等のリーダー業務について相談や役割分担ができる3人程度の仲間（協力者＝役員の立場）を作ることで、リーダーに係る実質的及び精神的な負担を軽減することができます。

解説：リーダーシップをとる7つのコツ

- ④他の人に任せられる作業は、積極的に任せていくことで、リーダーの負担軽減を図ります。
- ⑤リーダーが地域住民全員の顔を覚えることは不可能ですが、地域住民がリーダーの顔を覚えることは容易です。地域の人的なネットワークを広げ「顔の見える関係」が重要です。
- ⑥災害発生時の被害を抑えるためには、自助が重要になることを地域の人に伝える。
- ⑦防災活動に参加してきた住民に対して、さらに地域防災の必要性を説明して、特に高い関心を持ってくれた人には、継続的な活動への参加・協力を促します。

設問 1 まとめ

避難所での活動班には適材適所の人材を配置

班のリーダーには負担があるから皆で支える体制をつくる

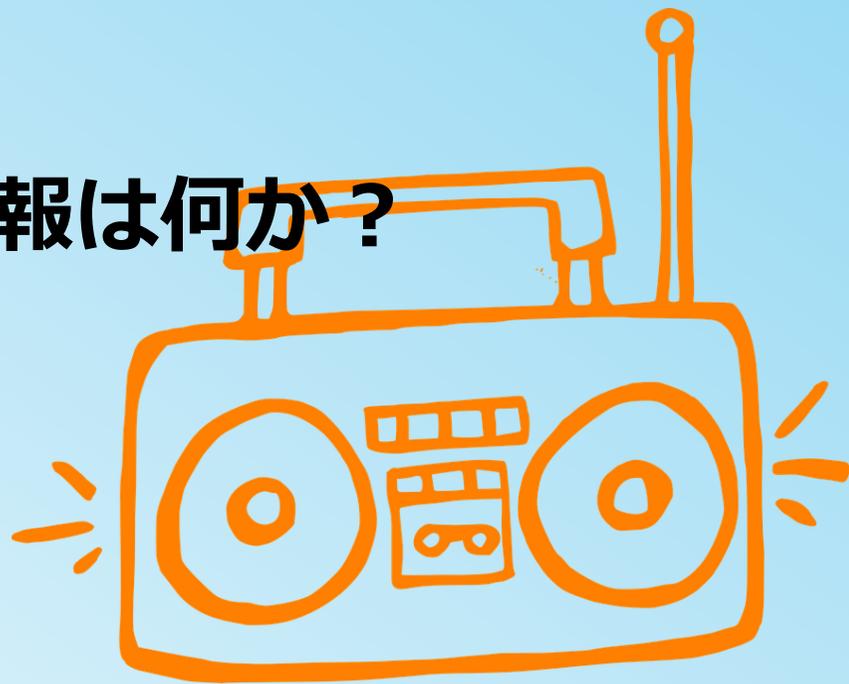
**班には女性を必ず 3 割以上で構成
女性の意見を反映させる**

長期化をすることを想定した**安全対策**、
情報収集と情報共有

<設問 2>

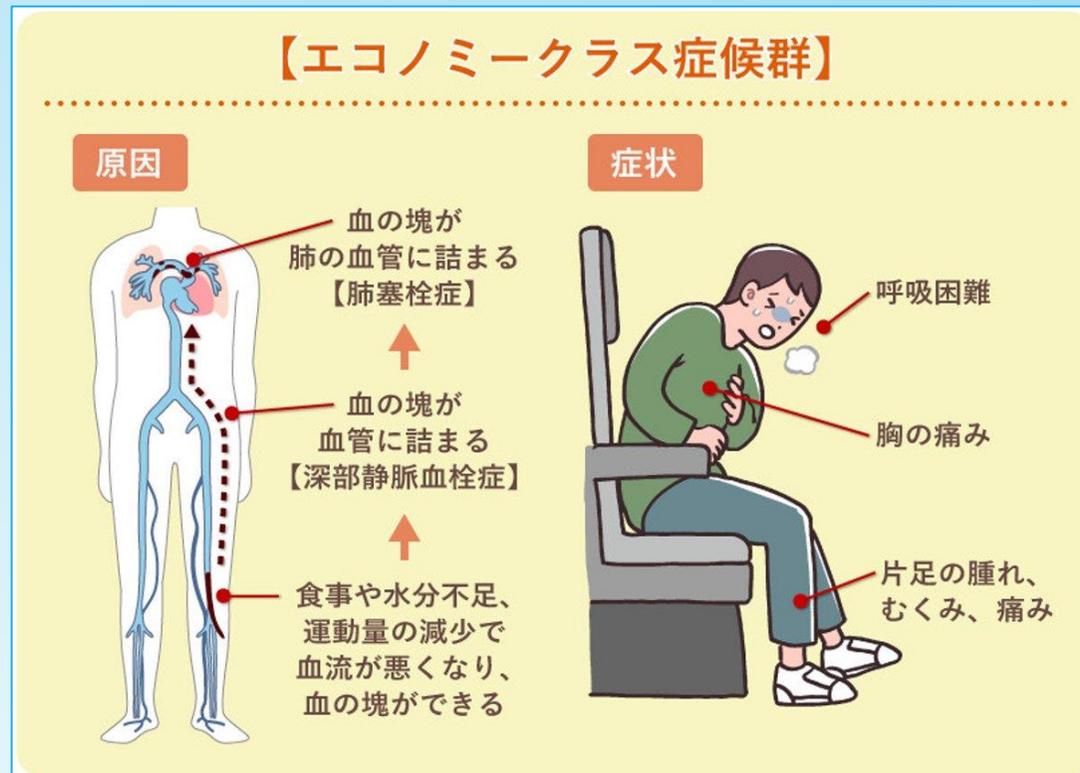
長期化をすることを想定した安全対策、情報収集と情報共有

- ・ 避難所における安全対策について考えてみましょう。
- ・ 避難所における必要する情報は何か？
情報共有の手段は？



(エコノミークラス症候群予防)

食事や水分を十分に取らない状態で車などの**狭い座席に長時間**座っていて足を動かさないと、**血行不良**が起こり、**血液が固まりやすくなります**。その結果、**血の固まり(血栓)**が足から肺などへとび、**血管を詰まらせ肺塞栓**などを誘発する恐れがあります。この症状を**エコノミークラス症候群**と呼んでいます。



(エコノミークラス症候群予防)

予防として狭い車内などで寝起きを余儀なくされている方は、**定期的に体を動かし**、十分に**水分をとる**ように働きかけましょう。アルコール、コーヒーなどは利尿作用があり、飲んだ以上に水分となって体外に出てしまうので避けるように指導しましょう。

できるだけゆったりとした服を着るように促しましょう。また、**禁煙**はエコノミークラス症候群の予防においても大変重要です。**胸の痛み**や、**片側の足の痛み・赤くなる・むくみ**がある方は早めに救護所や医療機関へ紹介しましょう。

ペットなどの事情で、やむを得ず車内での生活を余儀なくされ方々を把握し、健康管理を担当するチームなどに、情報提供しましょう。

エコノミークラス症候群を防ぐには 日本赤十字社の資料から

- ・窮屈な場所で寝泊まりしない
- ・水分を十分に取る
- ・定期的に体を動かす

主な足の運動

足の指でグーをつくる	つま先立ちをする	ひざを両手で抱え、足の力を抜いて足首を回す
足の指を開く	つま先を引き上げる	ふくらはぎを軽くもむ

解説：避難所における安全対策

- ・特に**要配慮者や女性**などの意見を聞き、屋外に設置した災害用トイレなど、夜間照明が必要な場所に非常用電源などによる**照明を設置**するなどの**環境対策・改善**を行う。

- ・**不審者や悪質商法**などを防止するため、館内放送等を活用した防犯広報や自警団等による**巡回警備**を行うほか、のぞき・盗撮などの性的犯罪等を防止するため、**更衣室**の**設置箇所や構造に配慮**する。

- ・ 防火対策として、出火及び放火を防ぐため**毎日避難所の火災予防のための自主検査表**により検査を行うとともに**定期的な巡回警備**を行う。また防火安全に係る**遵守事項**を避難所出入口等に**掲示**する。

「宗像市 避難所運営マニュアル参照」

火災予防以外の自主検査表も活用しましょう。

「火災予防のための自主検査表」

- ・ 避難する通路の安全の検査
- ・ ガス機器、電気機器の損傷の検査
- ・ 火気を使用する設備、喫煙所の検査

「震災後の余震に備えた緊急点検チェックリスト」

- ・ 建物全体または、一部の崩落等の検査
- ・ 周辺地盤、柱、窓、階段、天井等の検査

「建物の構造別チェックシート（コンクリート造、木造）」

- ・ 隣接する建物の検査
- ・ コンクリート造、木造別で検査

「宗像市 避難所運営マニュアル資料集参照」

「火災予防のための自主検査表」

「震災後の余震に備えた緊急点検チェックリスト」

様式 2-4 (本文 27 ページ関係)

避難所運営マニュアル 様式集

避難所の火災予防のための自主検査表

実施日	実施者	検査項目 (○:問題なし ×:不備・欠陥あり)						○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○
		避難する 通路に 物は置か れていな いか	ガス機器 のホース などに損 傷はない か	電気器具 の配線な どに損傷 はないか	たこ足配 線で電気 機器をし ようして いないか	火気を使 用する設 備や器具 に異常は ないか	喫煙場所 の取扱は 適切に処 理されて いるか			
/										
/										
/										
/										
/										
/										
/										
/										
/										
/										
/										
/										
/										
/										

- ・ 検査は毎日.....時に行ってください。
- ・ 検査の結果が「× (不備・欠陥がある)」となった場合は、すぐに改善してください。
- ・ 改善することが難しい場合は、直ちに管理班の班長に報告してください。
- ・ 追加の検査項目がある場合は、空欄にご記入ください。

様式 3 (本文 6 ページ関係)

避難所運営マニュアル 様式集

震災後の余震に備えた緊急点検チェックリスト 屋内運動場(体育館)用

発見番号

調査日	令和 年 月 日		時間	午前 / 午後	時
調査者			登録番号		
建物 概要	施設名称			建物名称	
	所在地			建築年	(西暦) 年
建物用途					
構造種別	純鉄骨造 / 鉄骨とRCの混合構造(層内・層別) / RC造に鉄骨部材 その他()				
階数	地上		階	地下	
建築面積			㎡	基礎面積	
調 査					
方法	外観のみ実施 / 内観調査も併せて実施				
1ー見して危険と判定される (該当する場合は○をつけ危険と判定し調査を終了する)					
<input type="checkbox"/> 建築物全体又は一部の崩落・落階がある					施設が 危険な 状態
<input type="checkbox"/> 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれがある					
<input type="checkbox"/> 建築物全体又は一部の著しい傾斜がある					
2 全体の状況に関する点検項目					
<input type="checkbox"/> 隣接する建物や周辺地盤による破壊の危険性(崖崩れなど)がある					施設が 危険又 は注意 を要す 状態
<input type="checkbox"/> 建物が多少なりとも傾斜している					
<input type="checkbox"/> 柱や梁に構成要素が曲がる現象(座屈)が発生している					
<input type="checkbox"/> 断文いたわんでいるもの、あるいは破断しているものがある					
<input type="checkbox"/> 柱と梁の接合部が一部破断している、接合部に亀裂が発生している					
<input type="checkbox"/> 柱脚が部分的にでも破損している					
<input type="checkbox"/> 高所からコンクリート片が落下した、あるいは落下しかかっている					
<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリートの部分に比較的大きなひび割れ(2mm程度)が見られる					
<input type="checkbox"/> 鉄骨部材に著しい腐食が見られる					
<input type="checkbox"/> 窓ガラス・窓枠にひび割れが見られる、窓枠がひずみスムーズに開閉できない					
<input type="checkbox"/> 外装材や内装材にひび割れや隙間が見られる					
<input type="checkbox"/> 屋外階段やひさしがわずかに傾斜あるいは移動している					
<input type="checkbox"/> 照明や吊り物が部分的にずれている					
<input type="checkbox"/> 天井裏を日視できる場合に天井ブレースにたわんでいるものや破断したものがある					
<input type="checkbox"/> その他、異常が見られる					
3 つり天井に関する点検項目					
<input type="checkbox"/> 天井の一部でも落下または落下しそうな状態である					施設が 危険な 状態
<input type="checkbox"/> 天井の周囲または段差に破損がある※					
<input type="checkbox"/> 天井が部分的にずれている※					

※落下防止対策がなされている場合の判定結果は「施設が危険又は注意を要する状態」
文部科学省「学校施設における天井等落下防止対策のための手引」(平成25年8月)を参考に作成

「建物の構造別チェックシート」

(コンクリート造)

避難所運営マニュアル 様式集

様式4-1 (本文6ページ関係)

建物の構造別チェックシート

コンクリート造等建築物

避難所名 _____
点検実施日時 _____
点検実施者名 _____

次の質問の該当するところに○をつけてください。

質 問	該当項目
1 隣接する建物が傾き、避難所の建物に倒れこむ危険性がありますか？	I いいえ II 傾いている感じがする III 倒れこみそうである
2 建物周辺に地すべり、がけくずれ、地割れ、噴砂・液状化等が生じましたか？	I いいえ II 生じた III ひどく生じた
3 建物が沈下しましたか？あるいは、建物周辺の地面が沈下しましたか？	I いいえ II 生じた III ひどく生じた
4 建物が傾斜しましたか？	I いいえ II 傾斜しているような感じがする III 明らかに傾斜した
5 外壁の柱や壁にひび割れがありますか？	I ない又は壁の毛程度のひび割れがある II 比較的大きなひび割れが入っている III 大きなひび割れが多数あり、鉄筋が見える
6 外壁タイル・モルタル等が落下しましたか？	I いいえ II 落下しかけている、落下している (Ⅲの回答なし)
7 その他、目についた被害を記入してください。 (例：雨漏りしている、窓が傾いた、水・ガスがもれている、家具が倒れた等)	

■ IIIの答えが1つでもある場合は、『危険』です。
施設内へは立ち入らず、市災害対策本部へ連絡し、至急詳細な危険度判定を行います。

■ IIの答えが1つでもある場合は、『要注意』です
施設内へは立ち入らず、市災害対策本部へ連絡し、専門家による応急的な補強を行う等、必要な措置を講じます。

■ Iのみの場合
危険箇所には注意し、施設を使用します。

(木造)

避難所運営マニュアル 様式集

様式4-2 (本文6ページ関係)

建物の構造別チェックシート

木造等建築物

避難所名 _____
点検実施日時 _____
点検実施者名 _____

次の質問の該当するところに○をつけてください。

質 問	該当項目
1 隣接する建物が傾き、避難所の建物に倒れこむ危険性がありますか？	I いいえ II 傾いている感じがする III 倒れこみそうである
2 建物周辺に地すべり、がけくずれ、地割れ、噴砂・液状化等が生じましたか？	I いいえ II 生じた III ひどく生じた
3 建物の基礎が壊れましたか？	I いいえ II 壊れたところがある III ひどく壊れた
4 建物が傾斜しましたか？	I いいえ II 傾斜しているような感じがする III 明らかに傾斜した
5 外壁材が落下しましたか？ または外壁材に亀裂がしょうじましたか？	I いいえ II 落下しかけている又は大きな亀裂がある III 落下している
6 屋根瓦が落下しましたか？	I いいえ II ずれた III 落下した
7 その他、目についた被害を記入してください。 (例：雨漏りしている、窓が傾いた、水・ガスがもれている、家具が倒れた等)	

■ IIIの答えが1つでもある場合は、『危険』です。
施設内へは立ち入らず、市災害対策本部へ連絡し、至急詳細な危険度判定を行います。

■ IIの答えが1つでもある場合は、『要注意』です
施設内へは立ち入らず、市災害対策本部へ連絡し、専門家による応急的な補強を行う等、必要な措置を講じます。

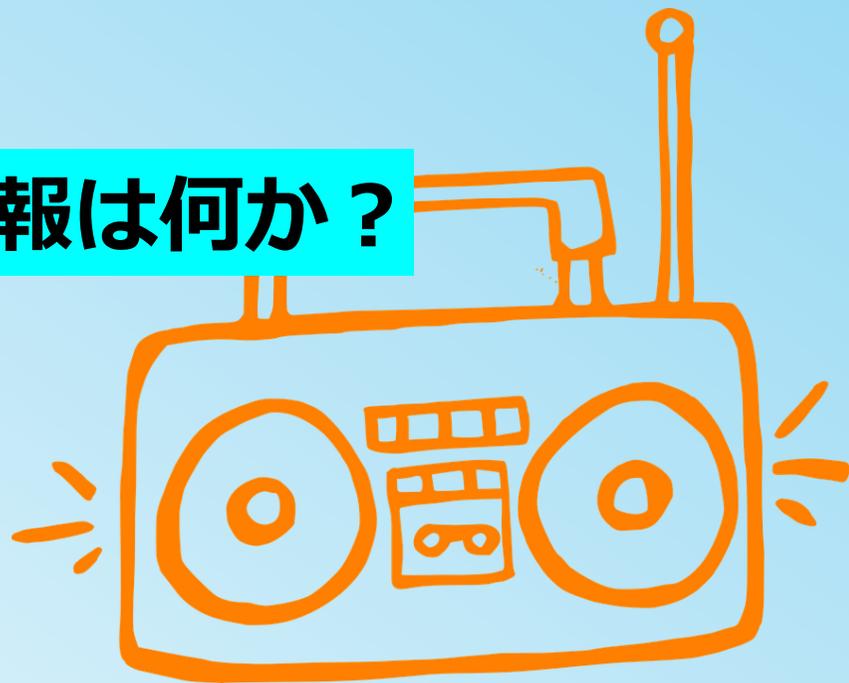
■ Iのみの場合
危険箇所には注意し、施設を使用します。

<設問 2>

長期化をすることを想定した安全対策、情報収集と情報共有

- ・ 避難所における安全対策について考えてみましょう。

- ・ 避難所における必要する情報は何か？
情報共有の手段は？



解説：継続して必要な情報と機材

必要な情報

- ・ 安否情報
- ・ 医療救護情報
- ・ 被害情報
- ・ ライフラインの復旧情報
- ・ 水、食料等などの生活物資の供給情報
- ・ 葬儀、埋葬に関する情報

必要な機材等

- ・ 電話
(衛星電話、携帯電話)
- ・ FAX
- ・ パソコン
(タブレット、スマホ)
- ・ テレビ、ラジオ
- ・ コピー機、プリンタ
- ・ 拡声器
- ・ 非常電源、バッテリー
- ・ 連絡用の自転車、バイク

解説：スマホでできる情報収集の紹介

アプリ編

- ・ 「NHKニュース・防災」

～設定地域に応じたニュース速報などのプッシュ通知が可能。

- ・ 「特務機関NERV」

～気象情報も河川情報もアプリひとつでみれる。

～危険予測もマップ上で簡単に表示可能。

WEBサイト編

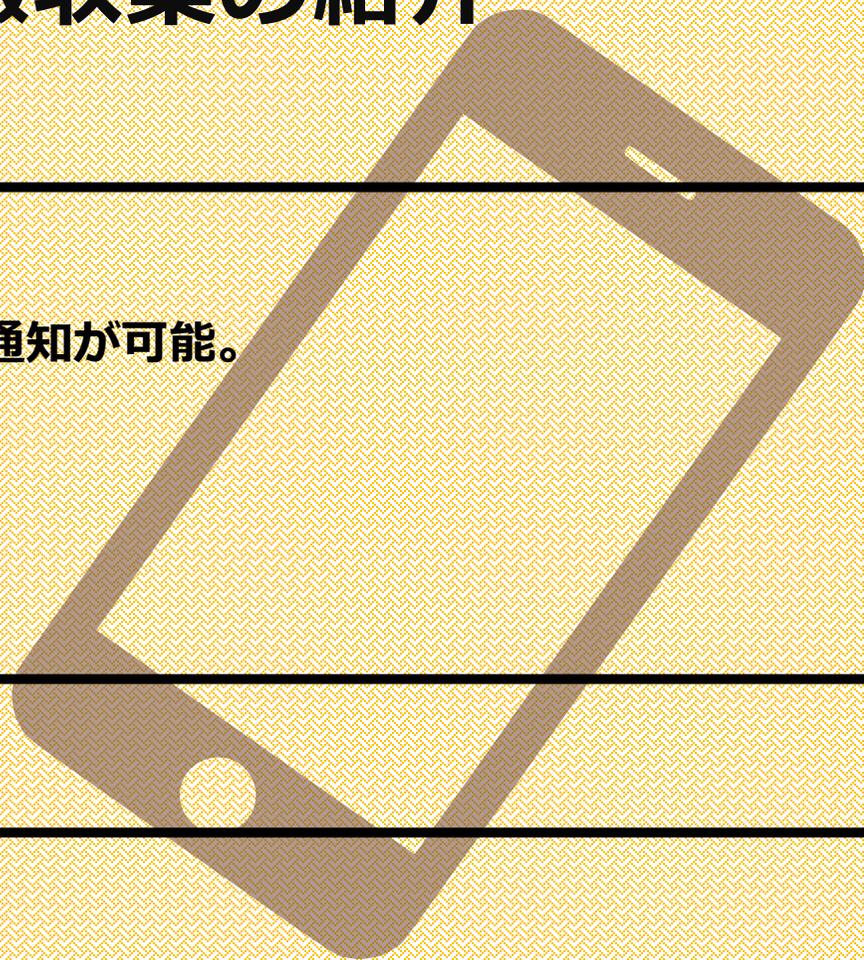
- ・ 気象庁「あなたの街の防災情報」

～登録した地点の天気に関する情報を収集できる他、地震や火山等の情報も確認できる。

- ・ 国土交通省「気象×水害・土砂災害情報マルチモニタ」

～登録した地点の気象、水害、土砂災害の情報が一覧で示され、情報にアクセスしやすい。

特に河川の情報が詳しく確認できる。



解説：情報共有の手段

情報共有の手段

- テレビ、ラジオ・パソコンを設置



被災者自らの情報収集意欲を高める。 「内閣府 避難所運営ガイドライン参照」

- 原則として**掲示板**へ張り紙などの**文字による伝達**。ただし、**緊急時には放送設備**を使用する。また、**自治会代表**→**グループリーダー**を通じて避難者へ伝える。

「福津市 避難所開設・運営マニュアル参照」

解説：情報共有の際の配慮

配慮事項

○障がい者への情報提供→伝達に工夫が必要！

- ・聴覚障がい～掲示板、FAX、手話、要約筆記
- ・視覚障がい～点字、音声等
- ・盲ろう～指点字、手書き文字等
- ・知的障がい、精神障がい、発達障がい、認知症

～わかりやすい短い言葉、文字、絵や写真の掲示等

○外国人への情報提供

～ボランティア（通訳等）の協力を得ながら可能な限り多様な言語やひらがな、カタカナを使用し、絵や写真の掲示に配慮する。

解説：情報共有について

より早く知らせる

※被災者自ら情報収集できる手段を提供することは、被災者の自立的な再建意欲を高めます。

地域の被害情報や復旧情報など様々な情報が被災者に共有されることで、自然発生的な「避難所間の格差是正」「避難所の集約」「避難所の早期解消」「生活再再建」への流れが生まれる効果が期待されます。

「内閣府 避難所運営ガイドライン参照」

設問 2 まとめ

**安全対策～環境対策、不審者対策、火気対策
女性への配慮**

情報共有を早く行うことが大事

→ **要配慮者への考慮**

→ **復旧関係の情報は避難者の復興意欲を高める**

長期化に伴う食料と物資について

- ・飲料水～1人1日3リットル
 - ・食料～1人1日3食。
 - ・要配慮者～数が少ないなど公平に配給できない場合は、けが人や病人、高齢者、乳幼児、妊産婦、障がい者などに加え、健康状態、本人や家族・周囲の状況など、様々な事情を考慮した上で、優先順位をつけ個別に対応する。
- ※ 食料を配給する際には、栄養面に配慮するとともに、食物アレルギーや文化、宗教上の理由から食べられないものがないか必ず確認する
- ・衣類～サイズ別に整理し、配布しやすいようにしておく。
 - ・女性のニーズ～生理用品や女性用の下着類のニーズ把握は、女性が女性に対して行い、女性が配布することが原則。
 - ・トイレの確保

食料・物資の入手方法

① 食料・物資の調達

災害発生直後は食料等の十分な配布ができないため必要な食料、物資等を「避難所運営記録」に記載し、総務班を通じて災害対策本部へ連絡。



状況が落ち着いたら各グループリーダーが要望をとりまとめて、総務班を通じて災害対策本部へ連絡。

「食料・物資要望書」

「食料（主食）依頼伝票」

「物資依頼伝票」

様式を活用しよう！

「食料（主食）依頼伝票」

様式13 食料(主食)依頼伝票

① 避難所記入欄	依頼日時	月	日	時	分	
	避難所名					
	避難所住所					
	担当者 (役職名)					
		電話	FAX			
	依頼数	避難者用	食	(うち、やわらかい食事)	食	
		在宅被災者用	食	(うち、やわらかい食事)	食	
合計		食	(うち、やわらかい食事)	食		
その他の 依頼内容						

※食料（主食）が配達されましたら、速やかに市災害対策本部に報告して下さい。

② 市災害対策本部記入欄	受信日時	月	日	時	分	
	担当者名					
	処理時刻	月	日	時	分	
	依頼数	避難者用	食	(うち、やわらかい食事)	食	
		在宅被災者用	食	(うち、やわらかい食事)	食	
		合計	食	(うち、やわらかい食事)	食	
	発注業者	電話	FAX			
配達業者	電話	FAX				
配達確認時刻	月	日	時	分		
備考						

「物資依頼伝票」

様式14 物資依頼伝票

① 避難所記入欄				② 市災害対策本部記入欄					
依頼日時	月	日	時	分	受信日時	月	日	時	分
避難所名				受信者名					
避難所住所				処理者名					
担当者 役職名				発注業者	電話	FAX			
	電話	FAX		発注日時	月	日	時	分	
				伝票No.					
	品名	サイズ等	数量	出荷個数	個口	備考			
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
				個口合計					

※食料物資は、受領時に「食料・物資管理簿」に記入して下さい。

③ 配達担当者記入欄				④ 避難所 受領サイン	
出荷日時	月	日	時		分
配達者名					電話 FAX
配達日時	月	日	時	分	

② 食料・物資の受け入れ

- ・ 災害対策本部から食料・物資が届いたら、搬入者を誘導する。
- ・ 避難者やボランティアに協力を呼びかけ、荷下ろし、運搬の**人員確保**を行う。
- ・ 食料・物品が届いたら、速やかに総務班を通じて**災害対策本部へ報告**。
- ・ 食料、物資が届いたら、品目ごとに「**物品の受払簿**」に記入。

様式

③ 食料の管理

- ・ 食料、物資の在庫を「**物品の受払簿**」で徹底管理。
→不足しそうな食料、物資を把握する。
- ・ 保管場所の**鍵は班長が管理**する。
- ・ 梅雨時期などにはカビ、ダニ等に注意し、**保管場所の衛生管理**に注意する。
- ・ 食料の消費期限に注意する。
- ・ 保管場所の温度管理を徹底（管理ができない場合は受け入れない）

🌸 まとめ 🌸

代表・副代表

～避難所のルール、司会、外部との調整

班長

総務班

～組織内の調整、外部の窓口、受付等

班長

情報広報班

～災害、避難、復興状況等の情報提供

班長

管理班

～避難所の名簿作成、入所管理、警備

班長

保健衛生班

～感染症予防、ごみの管理、トイレ、風呂、洗濯の管理、掃除

班長

医療福祉班

～スタッフの募集、傷病者・要配慮者への対応、健康状態の確認

班長

食料物資班

～食料・物資の調達、管理、炊き出し、配給方法、水の確保

班長

ボランティア班

～スタッフの募集、活動調整

🌸まとめ🌸～組織のメンバー構成

- ・ 適材適所の人材を各活動班へ
- ・ 女性への参画を求め、男女のニーズやプライバシーに考慮した避難所運営を行う。

チェックシートを活用しよう！

「女性の参画化」

- ・ **管理責任者**に女性と男性の両方を配置する。 **(3割女性が目標)**
- ・ **女性の意見**を反映させる。 ・ 役割を固定化しない。
- ・ 避難者の中には、**DVやストーカー等の被害者**が含まれる可能性があることから、**個人情報の管理**を徹底する。

🌸まとめ🌸～リーダーの仕事と負担

「仕事」

- ・グループ内の意見とりまとめ
- ・避難者への指示、要請
- ・各リーダーの定例会議

「負担」

- ・長期化となればリーダーの負担が増える。
- ・様々な要望に答えなければならない。
- ・リーダーも被災者であり、家族がいること。



まとめ

避難所における安全対策

要配慮者、女性^①の意見を反映

- ・ 災害用トイレ、風呂、更衣室等、屋外照明の環境・改善対策

不審者・悪質商法

- ・ 館内放送^②を活用した防犯広報
- ・ 自警団による巡回警備^③⇒のぞき、盗撮、性犯罪、盗難防止

🌸まとめ🌸 情報共有の重要性

被災者自ら情報収集できる手段を提供することは、被災者の自立的な**再建意欲**を高めます。

地域の被害情報や復旧情報など様々な情報が被災者に共有されることで、自然発生的な「避難所間の格差是正」「避難所の集約」「避難所の早期解消」「生活再再建」への流れが生まれる効果が期待されます。

🌸まとめ🌸

①食料・物資の調達

必要な食料、物資等を「避難所運営記録」に記載。総務班→災害対策本部

「食料・物資要望書」 「食料（主食）依頼伝票」 「物資依頼伝票」

②食料・物資の受け入れ

- ・荷下ろし、運搬の人員確保を行う。
- ・食料・物品が届いたら～総務→災害対策本部へ報告。「物品の受払簿」に記入。

③食料の管理

- ・「物品の受払簿」で徹底管理→不足しそうな食料、物資を把握する。
- ・保管場所の鍵は班長が管理する。
- ・保管場所の衛生管理に注意する。
- ・保管場所の温度管理を徹底（管理ができない場合は受け入れない）

これにて演習 4

長期化を見越して、指定避難所としての運営体制の構築

終了します。

ご清聴ありがとうございました。